

キャリアパスシート(モデル版)



(公社)神戸市私立保育園連盟

カテゴリー

G ジェネラリスト

		ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ	主任(主幹保育教諭)	副園長(教頭)	園長
1	社会人として	G-I	G-II	G-III	G-IV	G-V	G-VI
2	リーダーシップ						
3	マネジメント力						
4	コミュニケーション力						
5	課題発見・解決能力						
6	地域との関係構築力						

S スペシャリスト

		初級(B)	中級(A)	上級(S)	
保育実践	Ⅰ 養護	生命の保持	S-B-I	S-A-I	S-S-I
		情緒の安定	S-B-I	S-A-I	S-S-I
		健康支援・増進	S-B-I	S-A-I	S-S-I
		疾病等への対応	S-B-I	S-A-I	S-S-I
	Ⅱ 5領域	健康	S-B-II	S-A-II	S-S-II
		人間関係	S-B-II	S-A-II	S-S-II
		環境	S-B-II	S-A-II	S-S-II
		言葉	S-B-II	S-A-II	S-S-II
		表現	S-B-II	S-A-II	S-S-II
	Ⅲ 障がい児保育	S-B-III	S-A-III	S-S-III	
	Ⅳ 保護者支援・子育て支援	S-B-IV	S-A-IV	S-S-IV	
	Ⅴ 危機管理対応	S-B-V	S-A-V	S-S-V	
	Ⅵ 食育・アレルギー対応	S-B-VI	S-A-VI	S-S-VI	

キャリアパス(ジェネラリスト編)

役 職

		ステップⅠ	ステップⅡ	ステップⅢ	主任(主幹保育教諭)	副園長(教頭)	園長
求められる人物像	社会人として	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのモラル・ルール・マナーを知る ・自分の仕事を理解し、慣れる ・組織の一員としての自覚を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にルールやマナーを理解する ・組織の一員として期待される役割を意識する ・自分の仕事の目的・役割を認識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしてのモラル、ルール、マナーを知る ・組織の活性化を図る ・自分の仕事の目的・目標を明確化する ・自分の仕事の効率化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任としてのモラル、ルール、マナーを知る ・組織をまとめる ・組織の仕事の目的・目標を明確化する ・組織の仕事の効率化を図る 		
	リーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人の意見を聞くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・同僚や後輩の意見をまとめ、チーム力が発揮できるように協力して取り組める 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育や運営に対しての企画やアイデアを、周囲の人の意見を聞き、まとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育や運営に対し、職員全体をまとめ、目標や方針に向かって取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営・経営レベルでの苦情解決を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人、組織の目標達成に向け、職員の仕事に対するモチベーションを上げ組織として動かすことができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立って、物事を考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育、運営面において、他の職員と共に協力して取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育、運営面において、同僚や後輩に指導アドバイスをし、協力して取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体に組織の意向や方針を的確に伝え、職員の仕事の思いや状況を把握し、上司に対し代弁できる 		
			<ul style="list-style-type: none"> ・クラスのリーダーとして保育を行うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場に立って、物事を考えることが出来、上司、同僚、後輩から信頼を寄せられている 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育について、園全体を把握しながら、適格な指示を出す 		
					<ul style="list-style-type: none"> ・理念を理解し実行力がある ・全体の保育者の指導監督ができる 		
	マネジメント力	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間や保護者に対する報告・連絡・相談の重要性を理解し、実践できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの目標や方針を踏まえ、業務が遂行できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の保育や運営について主任を補佐する 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の課題解決に向け、的確な行動ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の課題解決に向けて行動し、遂行することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が仕事しやすいよう環境を整え、法人・保育の理念、方針に基づき、目標を達成できる組織運営ができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・法人、組織の一員であることを自覚し、自身の職務を遂行することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の職種の役割を理解し、適切な連携を図ることができる 		<ul style="list-style-type: none"> ・上司が正しい判断ができるよう、報告や相談ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の人事制度や労務管理を適切に遂行できるとともに、現状を分析し、改善策を上位者に提案できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係機関との連携を図り、法人理念・方針に基づき活動するために必要な環境整備ができる
		<ul style="list-style-type: none"> ・上司の指示に従い、業務改善ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務上の問題の発見や原因分析ができ、解決策の立案ができる 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、意見や提案をしやすいよう、配慮ができ、職員間が良い関係性が保てるよう調整できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長を補佐し代理人として指示・交渉を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営全般について把握し、必要に応じて指示・指導する
		<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務を振り返り、自身の業務の改善を図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する計画の進め方が理解できる 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育、運営面において、目標の設定や計画を立案し、遂行できる 		<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念に基づく、職員指導、事業計及び資金計画、実行力、決断力がある
					<ul style="list-style-type: none"> ・育成能力がある 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の心理的な健康管理に取り組むための制度や仕組みを構築できる
	コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・良好な人間関係を築く基礎力を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者・職員に対しての良好な人間関係を築ける 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての礼儀・マナーを習得している 	<ul style="list-style-type: none"> ・後輩に対して、さまざまな相談を受けることができる 				
<ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談(ほうれんそう)を的確に行う 							

キャリアパス(ジェネラリスト編)

課題発見・解決能力	・担当業務を理解し行動ができる	・業務上の問題の発見や原因分析ができ、解決策の立案ができる		・相談援助技術がある		・運営・経営レベルでの苦情解決を行う
	・日常業務における問題点を発見できる			・業務課題の原因を正確に分析でき、チームとしての目標を設定し、その解決に向けてチームの先頭に立つことができる		
				・業務課題の解決に向けて、部下に対するスーパービジョンを通じて、メンバーの気づきを促し、チームの解決力を高める		
地域との関係構築力	・上司の下で、地域の親子に相談や保育支援を行うことができる	・地域の親子に相談や保育支援を行うことができる		・地域の親子に対して地域支援の運営の指導や相談にあたり、必要に応じて関係機関と連携する	・家庭との連携・保護者会の運営の補佐と代理を行う	・家庭との連携・保護者会の運営ができる
						・園を代表して地域及び行政との連携を行うことができる
						・社会福祉法人における地域貢献の意義を理解し運営できる
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職員のためのサービスマナーセミナー～社会人として～ ・野外活動で使える遊び(キャンプに向けて) ・正しいおもちゃの選び方 ・旬を感じよう ・色の不思議を体験しましょう～赤・青・黄～ ・キャリアアップ研修(初任者研修) ・保育士会研修 ・保育記録の基礎と展開 ・おもちゃコーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応 ・発達の気になる子どもへの関わり ・保育士会研修 ・キャリアアップ研修(中堅職員) ・職場でのコミュニケーション能力 ・スーパーバイザー養成研修 ・レクリエーション研修 ・おもちゃコーディネーター ・OJTリーダー養成研修 ・保育記録の基礎と展開 ・レクリエーション研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けての取り組み ・全国保育士会研修会 ・保育士会研修 ・キャリアアップ研修(チームリーダー) ・指導的職員研修 ・スーパーバイザー養成研修 ・福祉職場のメンタルヘルスケア ・レクリエーション研修 ・おもちゃコーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けての取り組み ・保育スーパーバイザー養成研修会 ・主任保育士特別講座 ・全国保育士研修キャリアアップ研修(管理者) ・指導的職員研修 ・スーパーバイザー養成研修 ・福祉職場のメンタルヘルスケア ・レクリエーション研修 ・おもちゃコーディネーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理 ・マイナンバー制度 ・メンタルヘルス ・保育園の運営管理 ・社会福祉法人会計セミナー ・指導的職員研修 ・保育所長専門講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理 ・マイナンバー制度 ・メンタルヘルス ・保育園の運営管理 ・社会福祉法人会計セミナー ・保育所長専門講座
	OJT					
	SDS					

キャリアパス（スペシャリスト編）

		初級	中級	上級
養 護	生命の保持	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康観察(検温・顔色・機嫌など)ができる。 ・家庭との情報(食事・睡眠・排泄など)を取得し共有することができる。 ・一人一人の子どもの生理的欲求を十分に満たすことができる。 ・子どもが快適に生活できるように環境の整備ができる。 (部屋の明るさ・湿度・温度・掃除など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康観察から子どもの様子を読み取り、保護者へ情報を提供し共有することができる。 ・流行病の知識の提供、感染者数の開示、感染予防の提示ができる。 ・発達段階に合わせた生活習慣のための援助ができる。 * 満3歳未満児 子どものペースに合わせた援助や見守りができる。 * 満3歳以上児 主体的に動けるよう言葉がけを少なくし、見守ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に合わせた生活習慣のため援助に必要な指導の仕方が他職員にできる。 ・一人一人の子どもの健康増進が積極的に図られるよう計画することができる。 ・一人一人の子どもが健康で安全に過ごせるように、職員間、保護者との共有が円滑にできているか把握し指導できる。
	情緒の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・欲求を適切に満たす言葉がけやスキンシップができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・休息・あそびの時間配分ができる。 ・子どもの気持ちを汲み取ることができる。 ・子どもの求めに答え満足感を持たせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの気持ちを受容し共感することができる。 (達成感・満足感・自信に繋げる場の設定及び実施) ・情緒の安定と発達に応じた生活リズムを支える環境設定ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体となり肯定する気持ちが生まれるような環境が用意されているか評価し指導する。
	健康支援・増進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態や発育及び発達の状態を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の必要な予防接種の説明をする。 ・乳幼児期の感染症について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画を基に、一人一人の健康の保持及び増進に努めるよう職員に指導できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭の状況を把握し、必要に応じて相談支援ができる。 ・学校保健安全法に基づき、園の特性を加味した学校保健計画が作成できる。
	疾病等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・常備薬の適切な使い方を知り、使用することができる。 ・家庭から預かった薬をルールにのっとり間違いなく与薬できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・各疾病等対応マニュアルに従い対処することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携及び疾病等発生時のフローチャートの作成ができる。 ・発生時はフローチャートに基づき処置、報告ができる。
	研修			

キャリアパス（スペシャリスト編）

		初級	中級	上級
5 領域	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活リズムを知っている。 ・感染症などの症状や種類がわかり発生時の対応ができる。 ・発達に合わせた体育遊具の使い方を知っている。 ・子どもの変化に気づくことができる。 ・食べる楽しさを伝えることができる。 ・食べることが楽しいと感じることが出来るよう工夫できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動と休息、緊張感と解放感、動と静などの調和を図ることができる。 ・感染症など予防対策がとれる。 ・発達に合わせた様々な運動遊びを実践することができる。 ・子どもの様子から健康状態を把握することができる。 ・食習慣の大切さについて、保護者に伝え共感を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活リズムについて保護者に理解を促し家庭と十分な連携を図ることができる。 ・感染症などの対処法について実践、指導ができる。 ・子どもの能力に応じて興味関心を引き出す運動遊びを指導することができる。 ・常にこども一人一人の健康状態を把握し対処することができる。
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって最も身近な人的環境であることを意識し、子どものモデルになるような言動を常に心がける。 ・保育士の言動が他者と関わるきっかけとなることに留意している。 ・保育士自ら遊具などに愛着を持ち、大切に取扱う事で、友だちや仲間と共に使うものの扱い方を知らせていく。 ・子どもが一人一人の違いを認めながら、共に過ごすことを楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の子どもの友だちへの興味や関心、仲間関係などを把握し、見守り、援助、仲立ちが出来る。 ・異年齢の子ども同士の関わりが相互に良いものとなるような環境設定や活動を実践することができる。 ・高齢者や地域、多文化の人との交流が図れる計画を作成し活動の中で子ども自身が考えるきっかけが持てるように出来る。 ・個性を十分に認め、子ども同士の相互理解を図り、友だちと一緒に活動できる環境を設定し援助出来る。 ・家庭の状況を把握し、人権に配慮しながら適切な援助が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる文化を持つ人との関わりを深めていける環境を整え多文化共生の保育を保護者と共に実践できる。 ・子どもが遊びの中で、試行錯誤しながら考えて行動出来るようにまた、気持ちに共感し寄り添って保育が進めているか確認し指導出来る。 ・子ども同士が力を合わせ取り組む姿を認め、集団での活動が効果的なものになるような保育の指導が出来る。 ・人権を大切にする心を育て、自主、自立、協調の態度を養い道徳性の芽生えを養う保育の全体的指導が出来る。
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな物に興味を持てるような関わり方が出来る。 ・飼育動物の世話を通して生命の尊さを伝えることが出来る。 ・野菜の栽培知識がある。 ・物に愛着を持ち大切に取扱えるよう指導できる。 ・集団生活を通して公共の物を大切に出来るよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数や量、図形に関心を持てるような環境の設定ができる。 ・物の仕組みや性質を知っており子どもの気付きを誘う遊びの場を用意する。 ・日本の伝承行事を知っており、伝統的な行事に触れる機会を設けることができる。 ・様々な物の特性を知っており、工夫し活用できる。 ・野菜の栽培知識があり、野菜の特性に応じた畑づくりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境や地域社会の日常に精通し、触合う機会をつくる。 ・自分と物、他者のつながりが自然に意識出来るよう、様々な関わり方が出来る。 ・園内の自然環境を総合的に整備することができる。
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい言葉の使い方を知り使うことができる。 ・年齢に応じた絵本を選ぶことができる。 ・絵本から見立てあそび、ごっこあそびに展開できる。 ・名前や標識、絵本、手紙に触れる場が設定できる。 ・子どものイメージしやすい言葉を使って楽しませることが出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感性が引き出せるような絵本や童話の読み聞かせが出来る。 ・絵本や物語を通して、想像する楽しさを伝えることができる。 ・子どもの言葉に心を傾けて子どもの話やその背景にある思いを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本から劇あそび等に繋げるための言葉を子どもから引出し構成することができる。 ・子どもの言葉から思いを組み取り保護者に伝えることで子育て支援に繋げることができる。
	表現	<ul style="list-style-type: none"> ・色の3原色を知り、色を作り出すことができる。 ・絵画道具の使い方がわかる。 ・色々な折り紙のおり方を知っている。 ・季節の歌やわらべうたを知っている。 ・身体表現を助けるためのイメージしやすい曲を知っている。 ・大人のイメージを押し付けず子どもの感性を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれている絵の色合いやタッチ、内容から子どもの心理が読める。 ・友だちと共有の目的やイメージを持てるよう仲立ちすることができる。 ・子どもの遊びに合わせて道具や用具、素材の用意が出来る。 ・子どもの自由な動きに曲を合わせることが出来る。 ・子どもが自由に表現できる場を設定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれている絵の色使いやタッチ、内容から心理を読み心のケアができる。 ・表現活動に必要な道具や用具、素材について指導することができる。
	研修	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外実践研修(野外活動で使える遊び) ・資質向上研修会(正しいおもちゃの選び方) (色の選び方) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅研修会(保護者対応) 	<ul style="list-style-type: none"> ・園長研修会(豊かな感性を育てる)

キャリアパス（スペシャリスト編）

		初級 基準（～ができる）	中級 基準（～ができる）	上級 基準（～ができる）
障がい児保育	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発達を適切に理解し、早期に障がい気づくことができる。 ・すこやか保育の申請方法を知っている。 ・発達が気になる子どもへの関わり方を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の思いを受容し、家族支援のあり方を検討できる ・関係機関と協働して、対象園児・保護者の支援ができる。 ・障がいに応じた対応・支援方法を知っている。 ・個別支援計画を作成できる ・発達のゆっくりな子どもを理解し生活援助が出来る ・児童相談所や区など、子育て支援関係機関との連携協力態勢を構築できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルを対象児童に応じて身に付けさせることができる。 ・子どもを見守り観察し行動や気持ちを理解し、子どものレベルに合わせて意欲を引き出すことが出来る。 ・就学に際して、学校関係者と連携しスムーズな学校生活がスタートできるよう調整・協力できる。 ・就学に関する様々な悩みや問題について、保護者からの相談にのり対応を考えることが出来る。
	研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導 ・統合保育研究大会 ・親子一泊研修会 ・発達が気になる子どもへの関わり ・保育環境理論とデザイン力を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画作成研修 ・発達が気になる子どもと家族への支援のあり方 ・音楽療法 ・コーチング研修 ・就学相談研修 ・面談相談研修 ・保育環境理論とデザイン力を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・インリアル・アプローチ研修 ・ソーシャルトレーニングスキル研修 ・TEACCHプログラム ・ソーシャルワーク研修 ・カウンセリング研修 ・保育環境理論とデザイン力を学ぶ
保護者・子育て支援	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・地域関係機関との連絡・調整などが出来る ・体験保育の企画・運営ができる。 ・園庭開放などの企画・運営ができる。 ・子育て支援イベントの企画・運営ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての相談にのり、保護者の育児不安やストレスの解消を図ることができる ・地域の子育てに関するニーズの抽出ができる。 ・児童相談所や区等、子育て支援関係機関との連携協力態勢を構築できる。 ・地域関係機関とのネットワークを構築できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待の早期発見や関係機関との連携など、適切な対応ができる。 ・地域の子どもを取り巻く課題や問題の把握・掘り起こしが出来る。
	研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待対応研修会 ・保護者対応研修 ・面談相談研修 ・コミュニケーション研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待対応研修会 ・保護者対応研修 ・面談相談研修 ・ソーシャルワーク研修 ・カウンセリング研修 ・家庭支援に関する研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童心理研修 ・児童虐待対応研修会
危機管理対応	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・避難・不審者対策訓練の計画を立案できる。 ・児童の発達を正しく理解し、年齢に沿った遊びや活動を展開できる。 ・児童の園外活動時に、危険性の排除につとめることができる。 ・遊びの中で児童の行動予測ができる。 ・保護者に適切に対応することができる。 ・危険箇所やリスクについて認識することができる。 ・園所在地域のハザードマップから、災害リスクを把握し、避難計画を立案できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具・用具・素材について、年齢に応じた配置や遊び方適切に指導できる ・嘔吐物や便など、感染症の疑いのある児童の後始末を適切に行うことができる。 ・クレームに適切に対応し、問題点を改善できる。 ・施設内外の危険箇所のチェックを行ない、適宜改善する事ができる。 ・感染症や病気の正しい知識をもち、適切に対応する事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット事例を検証し、改善や他の職員へ指導・教育を行うことが出来る。 ・消費者庁などの全国の児童施設の重大事故報告を検証して、自園の危機対応案を立案できる。 ・他の職員の心理状態を把握し、適切にアドバイスできる。
	研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー講座 ・リスクマネージャー養成講座 ・感染症対策会議や保健研修 ・外遊び研修 ・体育指導研修 ・運動遊び研修 ・救命救急研修 ・フッ化物洗口研修 ・防災研修 ・小児保健研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー養成講座 ・感染症対策会議や保健研修 ・クレーム対応研修 ・幼児救命救急研修 ・水上救命救急研修 ・メンタルヘルスケア研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージャー養成講座 ・メンタルヘルスケア研修
食育・アレルギー対応	基準	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の季節や旬を知っている。 ・正しい食事のマナーを知っている。 ・食に関する禁忌を知っている。 ・クッキング保育の計画を立て実践できる。 ・食材に関する知識を習得している。 ・地域の特産物の知識を習得している。 ・離乳食の正しい知識を習得する。 ・身体測定、生活習慣、健康状態等から子どもの発育状況を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な国の食文化を知っている ・伝統食や季節毎のメニューなどの知識が豊富である。 ・子供に食に関して興味や関心を持たせることができる。 ・子供に食事中楽しく食べられるよう声かけや雰囲気作りができる。 ・果物野菜の生育計画を立てることができる。 ・健康な身体や歯の大切さを子供に伝え、指導することができる。 ・「食育基本法」「食育に関する指針」「神戸市食育推進計画」をもとに、食育計画を作成し、実践、評価、改善へとつなげることができる。 ・乳幼児期にふさわしい食生活が展開できるよう、日々の食事の提供において適切な援助配慮ができる。 ・アレルギーの知識が豊富で、食事提供を適切に行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭に偏食や栄養など食に関する指導、支援を行うことが出来る。 ・家庭に健康管理、生活習慣について助言、指導を行うことが出来る。 ・素材や調理方法で食材の味が変わることを、経験を通して子供に教えることができる。 ・離乳期の保護者へ適切な指導を行うことができる。 ・食育目標の達成のための食環境を整え、食習慣の定着を図ることができる。 ・地域の子育て家庭に対しても、食育の発信拠点、食育の推進の核となるよう努めることができる。 ・体調不良、アレルギー、障がいなど一人ひとりの子どもの心身の状況に応じて、嘱託医やかかりつけ医等と連携を図り、適切な対応が指示できる
	研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食育スペシャリスト研修 ・食生活フェア研修会 ・食生活フェア拡大実行委員会 ・食育研修会 ・栄養士調理師研修会 ・食育に関する研修 ・エビペン研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育スペシャリスト研修 ・食生活フェア研修会 ・食育研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育スペシャリスト研修 ・食生活フェア研修会 ・食育研修会